

## [沖縄通信]

激動の2011年もそろそろ終わりに近づいた。未曾有の大災害から9ヶ月、復興の兆しはみえているものの、遅々として進まぬ国の政策。国民の絆という点では確かに深まったかもしれないが、何だか釈然としないものが残っている。

来年はどうなるのであろうか？民主党はこの時期にマニフェスト違反ともいえる消費税アップに議論を費やしている。また一旦中止したダム建設を進めることになった。そして沖縄県民の総意を無視した基地の移転問題。あげればきりが無い程の問題が山積している。

来年は辰年

12月23日(金): 稽古納め、忘年会

午後1時半よりさつき会館で稽古納めを行なった。10月から母校の解剖学実習に隔週ごとの木曜日に顔を出すために戻ってきているので、何とか金曜日の稽古にも参加している。

9月9日に右膝前十字靭帯の再建手術を受けて3ヶ月。少しずつ良くなっているものの痛みもあり、蹴ったり走ったりはまだ無理である。11月のツールド沖縄は棄権したものの、自転車は何とか乗れるようになってきている。気持ちだけは若いのであるが、体がついていけない。まあ無理せず、のんびりやろうと思っている。

午後4時半からは恒例の忘年会。今回は私の還暦祝いと長田氏の古希祝いを兼ねて行なってもらった。場所はさつき会館近くの「新屋」。

中央区大会でお世話になっている金谷先生、荒川区居合道連盟会長の稲村先生、同じく居合道の宮治先生にもご臨席頂いた。翔恒と同級の金野正君と奥様、大家敏弘君、1級下の田正茂君らも参加してくれた。皆成人して立派になってくれて本当にうれしい！

大学、仕事の関係でやむなく稽古に参加できなくなってしまう場合が多いが、こうして再会でき一緒に飲むことができ幸せである。

空林会会員の子供の数は少なくなっているが、逆に成人以上の黒帯の数が多くなってきている。そこで来年から若い人たちの意見を会の運営に反映させる為と黒帯の技術の向上の為に、黒帯会を立ち上げることにした。そこで黒帯会という名称ではあまりにそのままなので、別に名前をつけることと相成った。いろいろ名前があがったが、金野支部長の提案した「翔空会」を採用し初代会

長には金野支部長にお願いした。どこの会でもそうであるが、高齢化が進んでいる。年配の方々の意見は大切であるが、若い人たちの斬新な考えを取り入れなければ今後の発展は有り得ない。まだ体が動けるうちに今まで培ってきた知識を若い人たちに教え、それと若い人たちの考え方を合わせ、新たな方向にもっていってくれればと考えている。

空林会も来年で創立29周年。私の引き時も近い。

12月25日(日)~27日(火): 熱海「ニューアカオ」

荒川区で保養所として契約しているニューアカオに出掛けた。3年前からこの次期に出掛けるのが恒例となっている。3・2年前は母と去年亡くなった長姉と行った。

母は今年90歳。姉が亡くなってからは松戸で一人暮らしをしている。沖縄から戻って来た時には必ず顔を出すようにしているのだが、このところ認知に問題がでてきているので心配である。今回は妻と娘が同行してくれた。

3日間一緒にいて、もうそろそろ一人暮らしは無理かな、と実感してきた。同じことを何度も言う。何度言っても理解していない。足元がおぼつかない。私自身膝が悪いので、歩けない辛さはよく分かる。

人間誰しも歳をとるが、歳をとることはそんなに悪いことじゃないなと、今までは思っていた。しかしそれはあくまで健康なときの話。健康であれば誰にも迷惑をかけないで、一人暮らしもできる。でもいつかは健康を害する時が必ずくる。自分でなりたくないと思っても、寝たきりになる時がくるかもしれない。そうなったら誰かに頼らなければいけないのである。

ヒトに限らず、生けるものはすべて無から生まれ無に戻っていく。これが自然の摂理である。精子と卵子が出会い受精し、40週母親のお腹の中で育ち、この世に出てくる。6ヶ月になると乳歯が生え始め、3歳で乳歯列が完成。6歳頃から永久歯が萌出し始め、12歳頃に永久歯列の完成となる。その後は人により異なるが、歯が1本ずつ抜けていって最後は生まれた時と同じようにすべてなくなり、無に戻っていくのである。

歳をとって物忘れが激しくなっていく、ボケていく。これは神様が私達にくれた、“もうそんなに頑張らなくていいんだよ”という、最後のプレゼントかもしれない。

でも歳をとって、哀しいことだね、誰でも毎年1つずつ歳をとっていく。健康で、逝くときはポックリ、それが理想である。

来年は少しでも一緒にいる時間を長くとれるようにしたい。

## [2012 年年頭所感]

### 1月1日(日): 元旦

2112年の幕開けである。茂木で寂しく一人で正月を迎えている。去年は日本にとって試練の年となった。今年はいろいろな面で前向きに進んでいきたいものである。

朝テレビをつけたら日本体育大学の「集団行動」をやっていた。今までは男子学生がやっていたが、今回の発表会では女子が初めて挑戦した。その練習から発表までをドキュメントタリーに放映していた。44人の女子学生が一つの目標に向かって練習する。けれども当日のリハーサルまでうまくいかない。それが本番では皆の気持ちが一つになり、見事成功した。

すばらしかった。感激した！

人に対する優しさ、思いやりが薄れてきて、他人に対して関心を示さなくなってきて久しくなってきたが、震災を期に「絆」ということが叫ばれている。人は一人では生きていけない。人と力をあわせることのすばらしさを、この集団行動の演技を見て、つくづく感じた。

各自の意識の植え付けをどうやるか。韓国のように2年間強制的に兵役につかせ、団体行動の必要性を徹底的に教育するのも今の日本にとって必要なことではないだろうか？

昨日は20kmの走り納めをしたが、途中で何と後輪がパンク！チューブを常備しているので、交換して何とか家に辿り着いたが、今日の走り初めはどうだろうか？昨日のことが頭をよぎる。

しかし寒い！！気温は6℃。体幹部は何とか風を通さないように着てきたが、足先、指先がかじかんでくる。坂でいくらこいても温まってこない。鼻水が滴り落ちてくる。沖縄に行く前までは年末年始にかけて、寝袋とテントを積んでバイクでキャンプに出掛けていたが、そのときの寒さを思い出した。

今日の走りは30km。15日に沖縄で100kmの大会があるので、何とかそれまでにはアップしたいと思っている。

明日の走りは中休み。授業の資料作りをしよう。